

## 2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	耐風設計資料小委員会	主 査 名：田村 哲郎 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：高橋 徹
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>2015 年 2 月に刊行された「建築物荷重指針・同解説」のうち、風荷重に関する解説および設計例を充実させることを目的とする。</p> <p>初年度：「建築物荷重指針を活かす設計資料 2—建築物の風応答・風荷重評価／CFD 適用ガイド」を刊行し、講習会を実施。</p> <p>2 年度：「建築物荷重指針」本文の英文化とともに、風荷重算定部分のソフト化を行う。今後の風荷重評価で CFD が多用されることを踏まえ、その特徴を明確化する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：田村哲郎 (東京工業大学) 幹事：谷口徹郎 (大阪市立大学)、寺崎浩 (大成建設) 委員：植松康 (東北大学)、大竹和夫 (竹中工務店)、奥田泰雄 (建築研究所)、小野佳之 (大林組)、片桐純治 (泉創建エンジニアリング)、菊池浩利 (清水建設)、岸田岳士 (電力中央研究所)、近藤宏二 (鹿島建設)、佐藤大樹 (東京工業大学)、松井正弘 (東京工芸大学)、道岡武信 (近畿大学)、吉江慶祐 (日建設計)	
設置 WG (WG 名：目的)	新 CFD 耐風設計法 WG：耐風設計における CFD の明確化、風疲労 WG：次回指針改定時の風疲労に関する項目の導入、風工学・気象 WG：CFD を活かした風工学と気象学の融合、耐風設計データベース WG：計算コード検証のためのデータベースの整備、実大ストームシミュレータ基本設計 WG：実大実験実現のための実大シミュレータの基本設計の検討	
2017 年度予算	350,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s2/">http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s2/</a>

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (4/21、8/8、10/19、1/16)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. CFD 適用ガイドの内容をチェックし、次期 WG で討議すべき課題 (変更点、今後検討すべき点など) の抽出を行った。 2. 基整促で得られた結果を公開する予定とし、耐風設計に資するデータベースのあり方について慎重に検討した。 3. 指針の英文原稿の執筆を終え、native check を経て、構造委員会の査読が残されている状況となった。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. CFD の技術は発展していくため、継続的な技術の補足が必要である。また CFD 適用ガイドの課題の解決策の検討を進めることとした。 2. データベースのあり方についての検討に時間を要することが予想され、CFD の実用を考えると急務の課題である。